

政策 4

豊かな心と生きがい

- (1) 芸術・文化
- (2) スポーツ

施策の概要

三次の歴史・伝統・文化が大切にされ、市民が親しみ、誇りを持っているとともに、生涯を通じて喜びを感じながら学ぶことで心豊かに暮らすことをめざし、芸術・文化の分野では、奥田元宋・小由女美術館を核とした良質な芸術鑑賞機会を提供するとともに、湯本豪一記念日本妖怪博物館など各施設を活かした芸術・文化の発信、市民ホールなどの文化施設を活かした芸術・文化活動の育成・普及など、市民が歴史・文化・芸術に親しむ環境の充実に取り組んでいます。また、デジタル技術を活用した文化財の計画的保護と情報発信を推進するとともに、三次の歴史や伝統文化の学習機会の提供や人材育成などの取組を通して、もののけや鵜飼、神楽などの伝統・文化の保存・継承と新たな価値の創造に取り組んでいます。あわせて、コミュニティセンターを中心とした地域における生涯学習の推進や、豊かな心を育む図書館事業の推進、地域を学ぶ環境づくりなど、つながりの中で生きがいをもって暮らす、生涯を通じた学びの推進に取り組んでいます。

スポーツの分野では、それぞれのライフステージに応じて「いつでも」「どこでも」「誰も」が生活の中でスポーツに親しみ、活力あふれる“スポーツのまちみよし”の実現をめざし、スポーツ施設などを活用して誰もが一緒にスポーツを楽しめる環境づくりや、スポーツ推進委員をはじめとする人材の育成・確保、パラスポーツやインクルーシブスポーツの普及などに取り組んでいます。また、子どもたちがスポーツに親しむことで体力・運動機能の向上を図るとともに、トップアスリートやトップチームとの交流を通じてスポーツの楽しさや魅力を知ってもらうきっかけづくりやスポーツスクールの実施など、大人になってもスポーツを楽しむことができる機会の創出に取り組んでいます。あわせて、「三次スポーツコミッション」によるスポーツを通じたまちづくりの推進や、地域資源を活かした大会や合宿の誘致による交流や地域経済の活性化に取り組むとともに、女子スポーツの推進による女性が住みやすく、活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

第3次三次市総合計画に掲げる「目標指標」・「重要業績評価指標（KPI）」の実績

（１）芸術・文化

施策		指標	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R15)
目標指標		「地域の伝統文化を保存継承している」と思う市民の割合	39.4% (R4 年度)	—	50%
		過去1年間に芸術・文化を鑑賞・体験等をした市民の割合	—	—	50%
施策 1	地域文化資源 の活用による 芸術・文化の 振興	美術館の入館数（奥田元宋・小由女美術館，はらみちを美術館，美術館あーとあい・きさ，三良坂平和美術館）	70,472 人 (R4 年度)	51,383 人	78,000 人
		文化施設の入館者数（三次市民ホールきりり，文化センターさくぎ，みわ文化センター，ジミー・カーターシビックセンター）	59,432 人 (R4 年度)	65,129 人	98,000 人
		湯本豪一記念日本妖怪博物館の入館者数	41,721 人 (R4 年度)	54,135 人	60,000 人
施策 2	歴史・伝統・ 文化の継承と 地域の誇りの 醸成	資料館の入館者数（三次市歴史民俗資料館）	3,946 人 (R4 年度)	4,901 人	7,600 人
		「昔からあるお祭りなど地域の伝統が大切にされている」と思う中高生の割合	83.2% (R4 年度)	—	83.2% (現状維持)
施策 3	生涯を通じた 学びの推進	一人あたりの図書貸出冊数（図書貸出冊数/利用者）	48 冊/人 (R4 年度)	124 冊/人	60 冊/人
		文化に関する出前講座・生涯学習事業等参加者数	537 人 (R4 年度)	228 人	700 人

(2) スポーツ

施策		指標	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R15)
目標指標		週1回以上運動・スポーツ実施率	33% (R4年度)	—	65%
		「『スポーツのまちみよし』にふさわしい運動・スポーツが盛んなまち」と思う市民の割合	38.9% (R4年度)	—	80%
施策1	誰もがスポーツを楽しめる環境づくり	スポーツをまったくしていない市民の割合	29.6% (R4年度)	—	10%
施策2	子どもたちがスポーツに親しむ機会の創出	普段、スポーツをほとんど・全くしていない中高生の割合	26.2% (R4年度)	—	10%
		中高生がクラブ（運動・スポーツ）などに所属している割合	43% (R4年度)	—	60%
施策3	スポーツによる地域活性化の推進	総観光客数のうちスポーツ関連を目的にした観光客数	24万4千人 (R4年度)	45万3千人	35万人
		スポーツ大会開催数や合宿団体数	大会 25件 合宿 75団体 (R4年度)	大会 28件 合宿 30団体	大会 35件 合宿 90団体
		女子スポーツ推進について「知っている」市民の割合	23.8% (R4年度)	—	80%

		担当部課名	地域共創部まちづくり交通課				
事業名		もののけミュージアム5周年記念事業					
事業区分	新規事業		政策4 豊かな心と生きがい				
決算額	3,500	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他		
		0	0	0	3,500	0	
事業の概要	湯本豪一記念日本妖怪博物館の開館5周年にあたり、(一社)三次観光推進機構に対して特別展の開催及びスタンプラリーの実施に係る補助金を交付し、博物館への入館者の増加や三次町のにぎわい創出をめざす。						
事業の取組	三次もののけミュージアム開館5周年記念事業として、(一社)三次観光推進機構が実施した次の2事業に対して補助金を交付し、取組を支援しました。 1 開館5周年記念特別展「体験！ 石黒亜矢子原画展」の開催 期間:令和6年4月26日～10月15日 開館5周年記念特別展として、妖怪画家の石黒亜矢子氏が当館開館時に作成したキャラクターの原画及び妖怪作家の京極夏彦氏とのコラボによる絵本「もののけdiary」の出版記念原画展を開催しました。 2 開館5周年記念「三次もののけ遺産 & グルメスタンプラリー2024」の実施 期間:令和6年7月11日～10月15日 三次町のにぎわい創出につなげるため、博物館入館者に三次町を周遊してもらうよう稲生物怪録ゆかりの地や三次町内の飲食店にスタンプ(QRコード読み取り)を設置し、所定のスタンプ数を獲得した人に景品を渡すスタンプラリーを実施しました。 サイトの閲覧者 2,092人 うち三次町内を周遊 418人 うちスタンプラリーにエントリー 240人 うち特典応募 113人						
事業の成果	開館5周年を記念した事業の実施を支援することにより、博物館のPRや期間中の入館者の増につながるとともに、飲食店などを巡るスタンプラリーをきっかけに博物館の入館者の三次町の周遊とにぎわい創出につながりました。さらにスタンプラリーでは、参加者へのアンケート調査も実施し、調査結果を今後の博物館の入館者増に向けた対策に活用することができました。						

(単位:千円)

		担当部課名	教育部社会教育課, 甲奴支所				
事業名		ジミー・カーターシビックセンター改修事業					
事業区分	新規事業		政策4 豊かな心と生きがい				
決算額	160,332	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他		
		0	0	101,600	0	58,732	
事業の概要		平成6年度に建築された当該施設は、甲奴町の活動拠点であり、教育文化の向上のほか国際交流のための重要な施設である。しかしながら当該施設の空調設備は竣工後25年以上が経過し、老朽化による故障・修繕を繰り返しており、安全・快適な利用に支障をきたしている。また、カーター元大統領の展示室も展示コンテンツに現状と相違するもの等が散見される状況にある。施設面においては、熱源機器や中央監視装置盤などの更新のほか個別管理できる空調として改修を行うことにより、施設の長寿命化及び機能向上を図る。あわせて、展示室の更新に向けた改修工事を実施する。					
事業の取組		展示室の工事は、令和5年度に実施設計を行い、令和6年5月に着工し、約1年にわたり照明を含む展示室全体の改修を行いました。 更新後の展示では、ジミー・カーター氏とロザリン夫人のあゆみをはじめ、カーター氏のバックグラウンドとなった少年時代の環境についても紹介しました。また、ジョージア州アトランタ市のカーターセンターの諸活動をより理解しやすく伝えられるよう、最新のICT技術を導入し、現在の世界的な課題と社会問題を考える機会を提供しました。 展示室では、動画等を手軽に再生できる設備・システムを導入したことで、学生等の来館者が、自ら調べ、考えることのできる場所になっており、より多角的な平和教育プログラムを提供できるものとなりました。					
事業の成果		空調の機器を更新したことにより、施設の長寿命化と機能改善を図りました。また、展示物等を更新したことで施設運営の活性化が見込まれます。					

(単位:千円)

		担当部課名	教育部社会教育課			
事業名		子ども文化芸術ふれあい事業				
事業区分	継続事業		政策4 豊かな心と生きがい			
決算額	4,405	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	
		0	0	0	4,405	0
事業の概要	市内の小中学生に、本市の芸術や歴史、文化に触れる機会を提供することで、児童生徒の豊かな心を育み、本市の文化・芸術の発展・継承と創造につなげる。					
事業の取組	劇団四季による招待公演の鑑賞事業や市内の小中学校が市内の美術館等へ実際に訪れる美術鑑賞に支援を行い、芸術への関心を深める機会の創出に取り組みました。 ・劇団四季こころの劇場ファミリーミュージカル招待公演 演目：ガンバの大冒険 対象：小学校5・6年生 800名 ・劇団四季一般公演 公演日：令和6年12月14日(土)、入場者数：625人 ・美術鑑賞事業 鑑賞児童生徒数：390名 実施校：小学校10校、中学校2校 実施場所：奥田元栄・小由女美術館 ほか					 
事業の成果	本事業は、小中学生が芸術文化に触れることのできる貴重な機会の提供につながりました。一方で実施校が限定されているという課題も把握することができました。					

(単位:千円)

（単位：千円）

		担当部課名	教育部社会教育課				
事業名		史跡寺町廃寺跡整備事業					
事業区分	継続事業(拡充)		政策4 豊かな心と生きがい				
決算額	5,411	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他		
		2,704	0	0	0	2,707	
事業の概要		三次市向江田町に所在する国史跡の寺町廃寺跡について、適切な保存及び市民から愛される文化財を目指して、史跡の有する歴史的・文化的魅力が体験できる整備を行うことで、市民の歴史に対する理解を深め、郷土愛の醸成に努める。					
事業の取組		史跡整備の基本的な方向性と方針をまとめた整備基本計画を策定しました。 計画の策定にあたっては、学識経験者や地元代表からなる「三次市史跡寺町廃寺跡整備基本計画策定委員会」を設置し、年3回の審議を通して適切な計画策定に努めました。 また、和田自治連合会の協力のもと地元説明会を実施し、地元住民からいただいた意見も参考に計画を策定しました。 説明会参加者数 28人					
事業の成果		史跡寺町廃寺跡について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業計画を策定したことから、今後はAR・VR等の先端技術の活用も考慮しながら、幅広い世代の興味・関心を集める整備手法を検討します。					

(単位:千円)

		担当部課名	教育部社会教育課			
事業名		重要文化財等保存修理事業				
事業区分	継続事業(拡充)		政策4 豊かな心と生きがい			
決算額	3,650	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	
		0	0	0	0	3,650
事業の概要	市内の重要文化財等の保存と活用を図るため、保存修理を行う。事業主体である所有者に対し、国庫補助事業の受益者負担の一部を負担する。					
事業の取組	重要文化財奥家住宅保存修理事業は、令和5年度の実施設計にもとづき、令和5年度から継続して実施しており、令和6年度より屋根葺替及び部分修理を実施されました。事業主体は所有者であり、国庫補助事業の受益者負担の一部を負担するとともに、事業の実施支援を行いました。 なお、重要文化財奥家住宅保存修理事業は令和8年度まで予定されています。					
事業の成果	重要文化財奥家住宅は、建物の構造と残存する棟札・古文書等の資料により、建築年代(主屋:天明8(1788)年、土蔵:文化9(1812)年)が明確な全国的にも貴重な民家であり、次世代への継承に向けた修繕等を継続して実施していきます。					



(2)スポーツ

(単位:千円)

		担当部課名	地域共創部共生社会推進課				
事業名		みよし運動公園運動広場人工芝整備工事					
事業区分	継続事業		政策4 豊かな心と生きがい				
決算額	253,000	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他		
		0	0	240,300	12,700	0	
事業の概要	みよし運動公園を生涯スポーツの推進や魅力ある総合的なスポーツ公園として整備を進め、「運動広場を土のグラウンドから人工芝生に改修することなどを求める」という陳情を受けて、競技スポーツだけでなく、より多くの市民が生涯スポーツを楽しむことができる環境を整える。						
事業の取組	本施設は、みよし運動公園の施設の中でも多目的利用に対応可能な施設として、サッカー、野球、ソフトボール等多くの種目で利用されているが、真砂土舗装が経年劣化により波打ち、上層碎石が露出し使用に支障が出てきたことから、運動広場全面に人工芝生を敷設することで、すべての方が安全で快適にスポーツを楽しめる環境を整備しました。						
事業の成果	安全で快適なスポーツ環境を提供できるようになり、特に子どもたちのサッカーでの利用が増加しています。						



(単位:千円)

		担当部課名	地域共創部共生社会推進課				
事業名		スポーツのまちみよし応援事業(子どもの夢を応援事業など)					
事業区分	継続事業		政策4 豊かな心と生きがい				
決算額	14,606	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他		
		0	5,000	0	9,606	0	
事業の概要		全ての人がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、「三次スポーツコミッション」が中心となり、関係団体等との連携により各種スポーツの推進に係る取組を行う。					
事業の取組		子どもから高齢者まで、全ての市民がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとの関わり方を考え、「いつでも」「どこでも」「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる“スポーツのまちみよし”の実現をめざし、市民誰もがスポーツを楽しめる環境づくりのほか、スポーツを支える人材の育成、スポーツ施設を活用した合宿や大会の誘致などに取り組みしました。 また、プロ選手やトップアスリートを招いてのスポーツ教室の開催など、あこがれの選手と身近に接し、指導を受けることで、技術の向上だけでなく、スポーツに対する関心と向上心を高め、夢をもって前向きに進んでいく子どもを育てます。 特に、三次市を拠点とする女子硬式野球クラブチーム「三次Black Pearls(ブラックパールズ)」の設立を支援し、女子野球を通じた地域活性化に取り組みしました。				 	
事業の成果		三次スポーツコミッションが中心となり、特に女子硬式野球クラブチームの設立支援を中心に、侍ジャパン女子代表強化合宿や広島ドラゴンフライズ公式戦三次市冠試合、女子野球の各種大会、小学生を対象としたスポーツ体験型イベントなど、それぞれのライフステージに応じたスポーツとの関わり方につなげました。					

(単位:千円)

		担当部課名	教育部社会教育課			
事業名		真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業				
事業区分	継続事業		政策4 豊かな心と生きがい			
決算額	8,087	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	
		0	0	0	8,086	1
事業の概要	市内の概ね18歳以下の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体に対して、三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金の交付及びスポーツ・文化活動で使用する用具を購入する。					
事業の取組	子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、58団体に真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金を交付しました。 また、みよし運動公園、甲奴水泳プールで使用する用具を購入しました。 ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金 団体運営 53件 大会等開催 4件 合宿等実施 1件 ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業用具 みよし運動公園：ホームプレートマット、ソフトボールピッチングマット 甲奴水泳プール：プールフロア					
事業の成果	スポーツ・文化活動に取り組む団体や大会等に補助金を交付することで活動を支援し、子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図ることができました。 また、施設で使用する用具を購入することで、施設の充実を図りました。					

(単位:千円)

		担当部課名	地域共創部共生社会推進課			
事業名		スポーツのまちみよし応援事業(スポーツ等合宿助成事業)				
事業区分	継続事業		政策4 豊かな心と生きがい			
決算額	2,742	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	
		0	0	0	2,741	1
事業の概要	各スポーツ施設等を利用した合宿、大会等における宿泊の費用を助成し、施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大をめざす。					
事業の取組	スポーツ等合宿において、三次市内に宿泊し、三次市内のスポーツ・文化施設等を利用した団体等に対し助成を行いました。 申請件数 96件(内訳:合宿 30件、大会 66件) 延べ利用者数 2,691人					
事業の成果	施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大に寄与しました。					

(単位:千円)

		担当部課名	地域共創部共生社会推進課			
事業名		スポーツのまちみよし応援事業(女子硬式野球チーム設立支援)				
事業区分	継続事業		政策4 豊かな心と生きがい			
決算額	4,010	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	
		0	0	0	1,760	2,250
事業の概要	女子野球文化の根付いた「女子野球のまち みよし」の実現に向け、女子野球と親和性の高い「スポーツのまちみよし」や「女性の活躍推進」の取り組みとの相乗効果により、市内外における新たな関係人口を生み出し、地域活性化へつなげていく。					
事業の取組	チーム名:三次Black Pearls (三次ブラックパールズ) スローガン:地域とともに、強くなる。 本拠地:電光石火さんさいスタジアム三次 設立:令和7年4月1日 ゼネラルマネジャー:佐々岡 真司(ささおか しんじ) 監督:川口 憲史(かわぐち けんし) 選手:11名(選手募集は令和7年度も継続) 支援企業の開拓 企業向け営業用資料を作成し、各市内外企業へ営業を行いました。 連携協定企業 スターライト工業株式会社, JA共済連広島 包括協定企業 株式会社ヤクルト山陽					
事業の成果	「三次ブラックパールズ」の設立は、地域活性化や女性活躍の推進に寄与しました。女子硬式野球チームは市民の関心を引き、スポーツ文化(女子野球文化の定着)を育てるとともに、地域経済にもプラスの影響を与えています。地元企業との連携により、スポーツ振興と人材育成が進んでいます。また、チームの活動は三次市の認知度を高めるとともに、地域課題への取り組みを通じてコミュニティの強化や地域全体の士気向上にも寄与しています。					